

カーボンニュートラルを実現する、夢のエネルギー源。
環境メガトレンド投資の大本命

ワンポイント
One Point

水素

nikko am
Nikko Asset Management

vol.11

カーボンニュートラルポート形成を目指す横浜市

2021年11月、横浜市とENEOSは、水素サプライチェーン構築に向けた連携協定を締結し、市内臨海部でパイプラインをはじめとする水素供給インフラ整備に取り組むことを発表しています。製造業が集積している臨海部で水素の利活用を進め、温暖化ガス排出量実質ゼロの港湾「カーボンニュートラルポート」の形成を目指します。

横浜市は、国に先駆けて、脱炭素化の目標「Zero Carbon Yokohama(ゼロカーボン横浜)」を掲げ、再生可能エネルギーの導入量の拡大や水素の利活用の推進などを積極的に行なっています。横浜港全体での脱炭素化を図る「カーボンニュートラルポート」の形成を目指すほか、東京ガスと連携し水素と二酸化炭素(CO₂)を混ぜて合成メタンを製造し、ガスの脱炭素化を目指す「メタネーション」技術の実証実験を進めるなど、カーボンニュートラル実現に向けた取り組みを積極的に進めています。



※上記はイメージです

※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

○当資料は、日興アセットマネジメントが「水素」についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。○投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。